

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 羽曳野荘

社会福祉法の改正が平成29年度に施行され、社会福祉法人制度改革で求められている地域に根差す社会資源として、さまざまな生活のしづらさのある住民の福祉ニーズに自主的かつ積極的に取り組むこと等が課題となった。当法人も、児童養護施設の運営を軸に、組織経営のガバナンスの強化とともに、地域における公益的な新たな取り組み等、基本理念に沿った質の高い運営を目標に事業を進めた。

■法人

1. 理事会・評議員会の開催状況

(1) 監事による監査

平成29年5月26日

(2) 理事会

①平成29年5月28日

1. 平成28年度事業報告及び承認
2. 平成28年度会計決算報告及び承認
3. 平成28年度監事監査報告及び承認
4. 理事・監事の改選等について

②平成29年6月17日

1. 評議員会における理事・監事の選任についての報告
2. 理事長の互選について

③平成30年1月13日

1. 平成29年度現況報告
2. 平成29年度補正予算案について
3. 児童の状況について

④平成30年3月10日

1. 平成29年度二次補正予算（案）の承認について
2. 平成30年度事業計画（案）の承認について
3. 平成30年度予算（案）の承認について
4. 児童の状況について

(3) 評議員会

①平成29年6月17日

1. 平成28年度事業報告、決算報告、監事監査報告及び承認について
2. 理事・監事の選任について
3. 定款変更、経理規程の変更について
4. 新規事業について

②平成30年1月13日

1. 平成29年度現況報告
2. 平成29年度補正予算案について
3. 児童の状況について

③平成30年3月10日

1. 平成29年度二次補正予算（案）の承認について
2. 平成30年度事業計画（案）の承認について
3. 平成30年度予算（案）の承認について
4. 児童の状況について

2. 法人の取り組み（職務執行の状況）

（1）理事長の取り組み

①平成28年度の総括

（事業報告書、決算報告書、資産の変更登記等）

②理事会・評議員会の再編

③第二種社会福祉事業 生活困難者に対する相談支援事業開始に関する定款変更及び登記変更

④地域における公益的活動に向けた関係機関と調整

⑤労働基準監督署調査への対応

・休憩時間、超過勤務への対応については是正

（2）地域貢献に取り組む

子どもの貧困が社会問題となっている中、子どもを通して広く地域につながる、子育てを通し、地域になくてはならない存在となり得るよう、児童福祉施設を運営している社会福祉法人が何をすべきかを自問自答しながら進めていく。

①法人の施設（設備・備品）を地域に開放した。

②地域の様々な活動に参画して、その中で地域のニーズを把握することで羽曳野荘としてできる支援を進めた。

③大規模災害時において、近隣住民の避難場所としての利用を進めた。

④大規模災害時における羽曳野市の福祉避難所としての利用を進めた。

⑤地域の貧困児の支援を行うためにニーズを模索した。（子ども食堂の見学と運営の模索）

⑥地域の子育て支援活動（子育て相談、子育てサロン）に参画した。

⑦職員が保護司、町内自治会役員、子ども会役員、中学校サポーターの会、小学校区実行委員会の役割を担うと共に、校区福祉委員会、施設連絡会、要保護児童対策協議会等の各種の団体活動にも積極的に参画した。

	継母									
	継父		1							
	実母									

(6) 職員の現員及び人事

施設長：1名 副施設長：1名 書記：2名 児童指導員：4名 保育士：11名
 心理士：1名 栄養士：1名 調理員：3名 臨床心理士：(4名) 嘱託医：(1名)

採用職員(29. 4. 1) 保育士：2名 指導員：1名

退職職員(30. 3. 31) 保育士：1名 調理員：1名 臨床心理士：(2名)

2. 苦情解決について

苦情の申し出内容について

子ども関係：3件

保護者関係：1件

地域関係：1件

3. 年間実施行事

4月	桜まつり 避難誘導消火訓練 ボクシング招待 プロ野球招待 プロバスケットボール招待 関西電力招待行事(生駒山上遊園地)
5月	スポーツ大会 曾爾高原ハイキング：中止 宝探し 母の日の催し 大山太徳コンサート招待 イチゴ狩り招待 U S J招待 JAM大阪ふれあい活動(神戸動物王国) さくらんぼ狩り招待
6月	マルハン交流会 ジャガイモ掘り招待 幼・小創立記念行事(南港A T Cあそびマーレ) 父の日の催し 中学校創立記念行事(ラウンドワン：ボーリング)
7月	七夕 フットサル大阪大会 夏休みラジオ体操 プロ野球招待 難波別院映画会 子ども会映画会 ぶどう狩り招待(ダルビッシュ有基金) 万代ドリームワールド
8月	キャンプ：中止(三重県松阪市)→映画鑑賞に変更 羽曳野支援学校プール利用 目で見ると自然教室 マルハンソフトボール交流会 河内会交歓ソフトボール大会 プロ野球招待
9月	敬老の日行事 悲田院昼店招待 レゴランド招待
10月	大山太徳コンサート招待 小学校ふれあいまつり：中止 蜻蛉池公園外出 白鳥児童館祭り
11月	道明寺天満宮七五三詣 I B U学園祭行事 サツマイモ掘り招待 回転寿司招待 中学校生き生き ネットフェスタ 秋まつり マルハンフットサル交流会 オリックスファン感謝ディ招待
12月	校区大規模災害訓練 大津神社七五三詣 カップ座招待 日産労連招待(劇団四季鑑賞) 藤井寺市民音楽団 関西電力羽曳野営業所交流会 市長・社協サンタ慰問 美鈴サンタさん訪問 横浜F C北野選手慰問 未来っ子カーニバル クリスマス会 大掃除 お餅つき 夜警
1月	初詣(壺井八幡宮) 映画鑑賞 子ども会ボウリング大会

2月	節分豆まき キッズニア甲子園招待 カップ座招待 赤十字冬の集い招待 金剛山耐寒登山
3月	石川クリーン作戦 ひな祭り催し イチゴ狩り招待 八角部屋招待 公德学園縁日招待 ドリームズカムトゥルー招待 中学生・高校生長島宿泊旅行 フットサル小学6年引退試合 幼児・小学生日帰り行事 (アドベンチャーワールド) 退園生を送る会 (喜多八招待)

4. クラブ活動

(1) フットサルクラブ

一年間、休日や祝日に小学生全員で練習に取り組んだ。

(2) ソフトボールクラブ

児童施設対抗のソフトボールに向けて練習に取り組んだ。

(3) クッキングクラブ (お菓子作り)

ボランティアの方のご指導で児童と職員でお菓子作りを行った。

(4) 陶芸クラブ (埴生窯)

土を触ってこねて、子ども自身が食事のお茶碗等を作り上げた。

(5) ピアノレッスンクラブ

ボランティアの方のご指導で7名がレッスンを受けた。

(6) 園芸クラブ

季節に合わせた野菜や草花の種を撒き、子どもと一緒に栽培した。

5. 学校・保護者との関わりについて

(1) 学校との関わり

○児童の在籍する小学校・中学校に新しく赴任された先生への研修会や小・中・施設合同の学習会を実施して、地域児童の課題を議論して理解・協力を図った。また常時ケースカンファレンスを実施して連携を図った。

(2) 保護者との関わり

○保護者には施設・学校の行事等の連絡を入れ、また催事には手紙を保護者に送付する等親子関係の構築に取り組んだ。

○保護者宅への一時帰宅は、子ども家庭センターと連携して親子関係の調整を行った。

6. 心理療法の状況

○今年度の心理療法の目的

個別心理療法においては、対象児童の適性や成育歴等を考慮して年齢相応の心身の発達状況に基づき適切な人格形成を図ることを目的として臨床心理的援助を実施した。

集団においては環境の安定を図るとともに、日常場面での児童の言動を観察・分析して直接処遇職員と共に理解を深めることを目的として複眼的なコンサルテーションを行った。

(1) 心理面接の回数

内 容	回 数
心理療法	4 6 3
心理検査	0
生活場面面接	8 5 6
職員への助言	6 8 1
支援方針会議への出席	2 4 4
その他	0
合計	2, 2 4 4

(4) 今年度の心理療法の総括

直接処遇職員との情報共有の中で子ども達の課題を明確にして発達的な面での援助の仕方を検討して、幼稚園年少から中学2年生までの子ども14名に対して個別心理療法を実施した。

7. 健康管理

○各ユニットの健康管理

- ・夏季は熱中症や脱水症にかからないように昼間を室内で過ごさせ、外出した際は定期的に水分や塩分補給のために塩飴を舂めさせた。
- ・昨年度同様インフルエンザの集団感染予防のため、感染者が出た場合は速やかに個室へ隔離したものの幼児の集団感染が起きたため、親子訓練室に移動させた隔離も行った。
- ・日頃から子どもへ「手洗い・うがい」の声掛けを実施した。その際、緑茶を用意してうがいを行えるようにすることで子ども達も興味を示した。
- ・夕食時のテーブルにアルコールのハンドジェルを置いて食事を摂る前に擦りこむことで感染を予防する対応を行った。
- ・職員研修会で感染症予防の研修会を実施して、嘔吐処理の対応について周知を図った。

8. 職員の研修

○内部研修【合計11回】

月	議論・受講した研修内容
4月	・ 権利擁護研修 児童施設部会主任研修会の伝達研修 「人権侵害事案の未然防止・早期発見・速やかな対応を目指して」 ・ 社会人としてのサービスマナーの伝達研修 ・ 幼児の外出時に起きた事案についての検討
5月	・ Professional の養育に向けて
6月	・ 小学生の学習の在り方について ・ 他施設の入浴死亡事故について考える ・ 第三者評価受審に向けての改訂について
7月	・ 夏休みに向けての生活を考える
9月	・ 性問題行動の認識を共有して行動について考える

10月	・西棟女児の生活状況を踏まえて対応を考える 講師：谷向監事
11月	・西棟女児の生活状況を踏まえて対応を考える 講師：谷向監事
12月	・感染症予防対策講習会の伝達研修 感染症の未然防止と嘔吐処理方法を実際に学ぶ ・養育のプロとして事例検討の実践に向けて
1月	・社会的養護を必要とする子どもへのチームケア
2月	・仕事の効率化に向けての手立てを考える
3月	・次年度に向けての生活を考える

○外部研修

月	受講した研修内容
4月	・新任職員のためのサービスマナー研修
5月	・河内会新任職員研修会「繋ぐ」 ・河内会心理士研修会「児童福祉領域における心理支援」 ・栄養管理研究会「調理実習・おやつ・小規模ユニットについて」 ・基礎コース研修会（年3回）「児童福祉施設の現状と期待される職員像等」
6月	・権利ノート研修会「施設における子どもの権利擁護について」 ・近畿児童養護施設連絡協議会「未来に向けて歩み続けるために」 ・感染症・食中毒講習会「食中毒の予防について」 ・河内会職員研修会「アセスメントの共通理解」 ・保育士養成校と児童施設との実習研究懇談会「施設実習モデルプログラムの協働作成に向けて」 ・ゆかり会研修会「地域共生社会の実現に向けて」
7月	・子ども家庭センターとの合同研修会「子どもの心理的支援としての精神科医療機関等の活用について」
9月	・河内会給食研修会「施設における手作りおやつについて」 ・西日本児童養護施設研修会「変革・社会的養護、その未来図は」 ・大阪府内児童施設職員研修会「子ども達の未来を描く誇りに満ちた社会的養護の現場を目指して」 ・社会的養護施設長セミナー ・地域福祉向上研修会「地域福祉をマネジメントする」 ・児童福祉施設研修会「乳幼児の食における発育・発達を学ぶ」
10月	・河内会心理士研修会「つなぎ保育 措置変更時におけるアタッチメント関係の形成に対する支援」 ・栄養管理研究会「お弁当について・子ども達からの要望について等」 ・給食関係者研修会「生きる力を育む食の世界」 ・特定給食講演会「ライフステージに合わせた食支援と口腔ケア・食物アレルギーについて」 ・高血圧予防講習会「給食施設における適塩の取り組みについて」 ・保母の会宿泊研修会「里山学院（乳児院・児童養護施設）施設見学」 ・里親支援専門相談員研修会「週末里親について」
11月	・全国児童養護施設連絡協議会研修会 ・河内会職員研修会「施設におけるルール・思春期年齢の子ども理解について」 ・感染症対策講習会「冬季の感染症対策」 ・人権研修会「社会的引きこもりに対する理解と支援」

	・人権研修会「子どもの貧困は家族の貧困」
12月	・児童施設部会人権研修会「子どもを主体とした権利擁護の実践に向けて」 ・羽曳野市要保護児童対策協議会「要保護児童の現状について」
1月	・児童施設部会主任研修会「代替養育に求められる良質で家庭的な養育環境」 ・河内会宿泊研修会「つばさ園（児童養護施設）の見学」 「ももの木学園（児童心理治療施設）の見学等」 ・ゆかり会研修会「事例報告についてのディスカッション」
2月	・河内会心理士研修会「子どもの愛着のアセスメントを学ぶ」 ・河内会職員研修会「先輩後輩職員との関わり方と職場での役割」 ・子ども家庭センターとの研修会「トラウマインフォームドケアについて」 ・cocoro-net@Osaka「アタッチメント」 ・施設長研修会「新しい社会的養育ビジョンから考える大阪の近未来プランとは」 ・CRC研修会「安心感の輪」子育てプログラム

9. 子育て短期支援事業（ショートステイ）の状況

(1) 受入可能人数：4名

(2) 契約市町村

羽曳野市・藤井寺市・松原市・八尾市・富田林市・河南町・河内長野市・太子町・千早赤坂村

	羽曳野	松原	富田林	太子	八尾	合計
利用人数	3	1	2	1	6	13 (名)
延べ日数	11	7	8	13	26	66 (日)

(3) 利用の理由

- ・母の精神疾患による育児休養のため
- ・母が病気で入院するため
- ・母子家庭で母の就労のため

10. 生活困難者に対する相談支援事業

(大阪府社会福祉協議会大阪しあわせネットワーク生活困窮者レスキュー事業)

○家族構成：羽曳野市内の母子家庭

金額：¥48,000程度

○家族構成：羽曳野市内の男性

金額：¥4,000程度

以上2件の支援を実施した

■備品購入及び設備の改善

- ・防犯カメラ増設
- ・幼児居室壁紙貼替代
- ・小学生居室にハンガーラック取付
- ・消火器立て
- ・防犯灯等増設工事
- ・パソコン
- ・電話機修理
- ・各ユニット事務所の棚
- ・LED 電気取替
- ・職員寮のエアコン取替

■各種民間補助事業及び支援の状況

- ・NHK歳末たすけあい義援金
小・中・高校生に対する入進学祝い金 ￥ 71,000
- ・株式会社 万代
文房具代（クリスマスプレゼント） ￥ 68,000
進学祝い金（高校3年児童1名） ￥ 10,000
（中学3年児童3名） ￥ 15,000
- ・美鈴後援会事務局 ￥ 325,276
- ・羽曳野市歳末たすけあい運動募金 ￥ 87,500
（児童へのお年玉）
- ・羽曳野市社会福祉協議会助成金 ￥ 50,000

■寄附・寄贈の状況

○寄附の状況

- ・施設拠点区分（44件） ￥1,676,944
- ・本部拠点区分（5件） ￥1,400,000
- 合計（49件） ￥3,076,946

○寄贈の状況

- ・給食 ￥ 287,500
- ・消耗備品 ￥ 118,000
- ・教養娯楽 ￥ 47,500
- ・被服 ￥ 12,000
- ・保健衛生 ￥ 9,600